

理趣三昧表白

敬つて真言教主大日如来、両部

曼荼羅、諸尊聖衆、別しては

本尊聖者金剛薩埵、欲・触・愛・慢、

八供・四摂等の諸大眷属、秘密内証

真実法門、般若理趣無上深典、

弘法大師等密教伝来諸阿闍梨耶、総じ

ては尽空法界の一切の三宝の境界に白

して言さく。

夫れ般若理趣経といつば、即身成仏の

経路、頓証菩提の真文なり。

初・中・後善の文義は遙かに衆経に超

え、一十七段の利益は普く群生に被

る。

色・声・香・味の境塵は悉く菩薩の

位地に列り、欲・触・愛・慢の煩惱は、

還りて常住の果都に備わる。

所以に受持誦誦の人は永く一切の悪趣を

超え、修習思惟の輩は、速に無量の

重障を消す。

功能至つて甚深なり、利益豈に唐捐なら

んや。

爰を以て護持施主○○氏、○○○○居士

○○忌菩提の為に、瑜伽清浄の密壇を

建て、般若理趣の秘法を修す。

若し爾らば、浄菩提心の宝珠は清光を

十六生の朝に添え、等覚無垢の浄月

は、円輝を三五夜の秋に伴わん。

乃至法界平等利益、敬つて白す。